

平成30年 2月28日

午前・午後9時10分

項目ごと・一括

平成30年 2月28日

浦幌町議会議長 田村寛邦様

浦幌町議会議員 澤口敏晴

一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

記

項目	要旨(内容)
地域おこし協力隊の活動	<p>地域おこし協力隊は、平成21年度、国により創設され、都市地域から過疎地域等の地域に移住し、産業や地域おこしを支える人材として、地域公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間、地域に移住することで、「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。</p> <p>浦幌町においては、平成25年度から採用され、これまで8名の地域おこし協力隊員が本町の地域活性化や各種イベントの協力、うらほろスタイル推進地域協議会とも連携をしながら、素晴らしい活動をされています。</p> <p>しかしながら、隊員の任期は制度上3年以下となっており、任期3年間で終了し、浦幌町から離れて行く隊員がほとんどで、大変残念な状況であります。</p> <p>浦幌町で培った知識や経験を活かし、本町に住み続けて活動したいと思っても残って起業が難しい状況でもあります。このような状況を踏まえ、対応策が必要と思いますが、町長の考えを伺います。</p>

平成30年 3月 1日
午前・午後 3時30分

項目ごと ・ 一括

平成30年 3月 1日

浦幌町議会議長 田村寛邦様

浦幌町議会議員 河内富喜

一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

記

項目	要旨(内容)
行政におけるドローンの利活用推進	<p>近年ドローンを利用した、先進的な取り組みが産業界はもとより各分野で検討され、実用化が進んでいます。</p> <p>行政においても自治体職員を対象とした「ドローン操作体験会」も開催され、ドローンの利活用の検討・模索が始まっており、管内でも農薬散布や農作物の発育調査などすでに利活用が進んでいます。</p> <p>道内自治体のドローン導入状況は、平成29年度現在19自治体が導入済みで、7自治体が導入予定、さらに31自治体が導入を検討中です。</p> <p>利用目的は、観光地等の撮影、防災・災害状況把握、鳥獣被害対策・林業分野・農業分野など多方面にわたっています。</p> <p>また近年、相次ぐ事故等により、航空法が改正されドローンに関しても一定の規制がなされています。</p> <p>そこで次の2点について伺います。</p> <p>1 今後、わが町においても、ドローンの利活用について、行政として積極的に導入し、操作する職員の養成も合わせて行う考えはないか。</p>

	<p>2 地域活性化のため、各産業団体と連携を図り、今後のドローンの利活用について、検討する必要があると思うが、町長の考えを伺います。</p>
--	---

平成30年 3月 2日
午前・午後 9時30分

項目ごと ・ 一括

平成30年 3月 2日

浦幌町議会議長 田村寛邦様

浦幌町議会議員 安藤忠司

一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

記

項目	要 旨 (内 容)
昆布刈石展望台の周辺整備	<p>平成24年9月第3回町議会定例会において、国道336号開通により、町道昆布刈石展望台線が町道認定され、浦幌町で一番の景勝地として、町民をはじめ、全国各地からの観光客も訪れ、大変好評な展望台です。</p> <p>しかし、現在の展望台周辺は、崖崩れがひどく、手摺などの設置もないことから、大変危険な状況です。</p> <p>また、展望台を過ぎ厚内へ向かう町道は、交通量が少なく大変道路も傷んでいる状況です。展望台周辺はゴミが多量に散乱しており、景勝地としては大変見苦しい状態であります。</p> <p>そこで次の3点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1 厚内側の町道については、交通量が少なく維持管理の費用もかさみ、さらに冬季間は、通行止めになっている状況であるため廃道にするべきではないか。2 展望台付近は、崖崩れがひどく、崖の高さも数十メートルあり、安全対策は大変困難と思えます。展望台付近に安全柵を設置し、車が誤って進入しないように駐車帯を設け、大型バスなども方向転換できるようにする考えはないか。

	<p>3 展望台周辺のゴミの不法投棄に対し、警告看板の設置が必要と思うが町長の考えを伺います。</p>
--	---